

# 【1月・0歳児・高月齢】

ほいのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳9カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳8カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳7カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳6カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 手洗いの際に、水で遊んでしまう姿が見られた。 2. リズム遊びや体操を楽しみ、保育者のまねをして体を動かしたり、「もっ」と「もう一回」と要求していた。 3. 発熱はないが鼻水が止まらず、スタイや服がすぐに汚れてしまった。	1. 保育者に誘われてトイレで排尿したり、オムツに排尿したことを、しぐさで保育者に知らせようとする姿が見られた。 2. 公園で自由に探索し、でこぼこした場所を歩いたり、段差の上り下りをして活発に体を動かしていた。 3. 季節の歌に合わせて鈴やマラカスを鳴らして楽しんだ。		
ねらい	1. 手洗いの仕方を知り、自分でやってみようとする 2. 体を動かして遊ぶ楽しさを味わう	1. オムツに排尿したことに気づき、伝えようとする 2. 戸外で探索活動を楽しむ		
内容	1. 保育者と一緒に丁寧に手を洗い、心地よさを感じる。 2. 季節の音楽に合わせて体を動かしたり、保育者の動きをまねして遊ぶ。	1. オムツに排尿した際には、自分なりの言葉やしぐさで保育者に伝え、清潔にしてもらうことで心地よさを感じる。 2. 園庭や公園で冬の自然に触れ、不思議さや面白さを感じる。		
環境構成 配慮 援助	1. 保育者が隣でゆっくりと手本を見せることで本児の意欲を刺激したり、「先生と一緒にやってみよう」と誘い、後ろから手を添えて一緒に腕まくりをしたり石けんをつけ、丁寧に手を洗えるように援助する。手洗いが完了したあとはタオルでの拭き方も伝えながら、「きれいになったね」と心地よさを感じられる声かけを行う。 2. リズム遊びや体操を安全に楽しめるよう、広いスペースを確保して行う。「ゆき」「おにのパンツ」などの季節の歌に合わせて、保育者と一緒に体を動かして楽しさを共有したり、手遊びや動きをまねしやすいよう、大きくわかりやすい動きを見せていく。	1. オムツが汚れたことに本児自ら気づいて伝えようとする姿を見逃さず、「教えてくれたんだね」「ちっちが出たんだね」と十分にほめるとともに、気づいていなかったり気にしていない様子が見られるときは、「ちっちが出ているかな?」と声をかける。オムツを交換しながら「さっぱりして気持ちいいね」と伝え、心地よさを実感できるようにする。 2. 気候の良い日は積極的に戸外に出かけ、安全に配慮しながら、自由に探索を楽しむ姿を見守る。「寒いね」「風が吹いているね」と、冬の空気の冷たさを言葉にして伝えたり、氷や霜柱などの自然物に触れる機会を作り、本児の発見やつぶやきを受け止め、好奇心を育てていく。		
食事	(幼児食) ・スプーンを使ったり手づかみ食べをする姿を見守り、「おいしいね」と共感し、食べる喜びを感じられるように関わる。 ・おかわりが欲しいときは皿を指さして伝えようとするので、「おかわりがほしいんだね」と言葉を補いながら、要求を受け止める。	(幼児食) ・ふざけて口を開けるときがあるので、「カミカミごっくんしようね」と伝え、保育者が噛んで食べる様子を見せる。 ・自ら器に手を添えて食べられるようになってきたので、「お皿を持つと食べやすいね」と本児の姿を認める言葉をかけ、自信につなげる。		
家庭の連携	3. 着替えやスタイを多めに持参してもらうとともに、様子を見て受診を勧める。 ・休み中の過ごし方や様子を詳しく聞いて本児の状態を把握し、疲れが見られる場合は、無理せずゆったりと過ごせるように配慮したり、午睡を促して十分に休息を取れるようにする。	3. 季節の歌や手遊びを紹介し、家庭でも親子で楽しめるようにする。 ・寒さが厳しくなってくる時期ではあるが、厚着をさせ過ぎず、着脱や調整がしやすい服装で登園してもらえるように伝える。		
評価・反省	1. 保育者と一緒に楽しく手洗いをし、徐々に自らできるようになってきた。腕まくりや石けんをつける際にはさりげなく援助しつつ、できた部分を大いにほめ、自分でできた喜びを感じられるように関わる。 2. 保育者の動きをよく見て、まねすることを楽しんでいった。楽しくなると動きが激しくなり、友だちにぶつかったり転倒する姿も見られたので、安全に楽しめるよう、保育者の声かけや立ち位置を見直したい。	1. 「ちっち出た」と言葉で伝えられる姿が増えた。排尿の際にはもぞもぞするなどのサインが見られるので、「タイミング良くトイレに行く?」と声をかけ、尿意を感じてトイレに行く流れを経験できるようにする。 2. 園庭で溶け残った雪や氷を発見し、触れることができた。天候や体調により戸外に出られない日も多かったため、テラスに出たり窓を開けて、「北風が冷たいね」「雪が降っているね」と伝え、冬の自然に興味を持てるように関わる。		

無料版：2名分  
↓  
有料版の  
"おまもりプラス"  
は12名分が  
閲覧&DL可能！

子どもの姿の1, 2は『内容/ねらい/環境構成・配慮・援助』、3は『家庭との連携』と運動しています。

敬称と性別表記：ウェブサイト当社方針を記載しております。